

わがまち この味

フラワー (大阪)



「平飼い鶏のストープ鍋」は税込み1650円



代表の植松太施さん。自ら畑に立ち、野菜を育てる。いずれも大阪府羽曳野市

フラワー 竹内街道軒里店 大阪府羽曳野市軒里2丁目73の1。近鉄古市駅から徒歩13分。午前9時半〜午後7時(ランチは午前11時〜午後3時)、元日のみ休み。禁煙。☎072・958・4444

店内のショーケースに並ぶ洋菓子の商品名は、思わずクスッと笑わせる。「オイス・ギ・ルー・タルト」。タルトショコラの商品名だが、おいしさを全力でアピールするフランス風のネーミングだ。名付け親で「フラワー」の代表、植松太施さん(57)は「コロナ禍の暗い雰囲気をもくしたかった」と話す。

フラワーは1963年、大阪府羽曳野市で植松さんの父が欧風菓子の店として開いた。その後、ランチ営業も開始。パティシエだった植松さんは、経営を引き継いだころから「自分が食べたいと思う、安全で安心な食材を提供したい」と強く思うようになった。

オスメの人気メニューの一つが「平飼い鶏のストープ鍋」。青森や秋田の自然栽培米や、国産のエサのみで育てられた大阪府河内町の鶏肉を使用。客からは「鶏肉がおいしい」と好評だという。(井上正一郎)

心と体が喜ぶ食届けたい

日吉の本社前に立つ村田弘司社長(同社提供)

法律の中に仕事がある

近畿の底

「苦労は山ほどあります。忘れられないのはダイオキシン測定に公定法(国が定める検査方法)に認められたこと」と村田弘司社長(65)は振り返る。技術畑を歩み、2007年に社長に就任した。



社会守る 人海戦術と検査技術

東日本大震災後は放射性物質の検査を、食品偽装が問題になればDNA検査を。滋賀県近江八幡市の「日吉」は、食品などの安全性を調べる検査を手がける環境保全会社だ。大気汚染防止法など、国は環境のためのさまざまな法律を作ってきたが、「法律の中に仕事がある」が社是の日吉は、その法律を技術力で仕事にしている。

日吉

(滋賀)

ダイオキシン類対策特別措置法が制定されたのは1999年。日吉は前年から米国企業と共同研究し、ホタルが光る原理を利用し、遺伝子組み換えをした細胞でダイオキシンの毒性量を測定する方法を開発していた。

だが国はなかなか公定法に認定せず、「多いときは年50回、霞が関を訪れた」。2005年、ようやく公定法に採用された。「従来の1台1億円以上する機械を使った測定より、安上がりで時間も格段に短縮できました」と技術部の中村昌文次長(49)が説明する。



ダイオキシンに反応する細胞を培養する容器を持つ技術部の中村昌文次長(右)。「滋賀県近江八幡市」

日吉 創業は1955年。本社は滋賀県近江八幡市北之庄町。東京、横浜、大阪に支店があるほか、グループ会社がいンドやアメリカにある。従業員は355人。88年以降、海外36カ国から千人以上の研修生を受け入れている。

害なポリ塩化ビフェニール(PCB)の処理に関する法律で、高濃度PCBについては近畿エリアの処分期限が2年後に迫っていた。PCBは蛍光灯の安定器にも使われている。日吉は近江八幡市内の学校設備の調査を請け負い、社員総動員で調査にあたった。「入社直後で右も左も分からない中、夏休みの学校で各教室に何本もある蛍光灯の型番を汗だくになってすべて確認した」と上森さん。社会の困りごとがあれば、人海戦術で対応して、入力システムなどを業務にしていける。それができる人と技術があるのが強みだ」と感じたという。元々は廃棄物処理からスタートした日吉。東日本大震災では、被災した処理施設に、業界団体と協力し、バキウムカー3台、社員3人を派遣した。総務部の大角浩子課長(54)は「ごみ収集なども含め、光が当たりにくい分野だが、災害時は感染症予防の面で大事なインフラです」。村田社長は「我々の仕事は、バックヤードで人目につかないですが、生活環境や産業活動を技術で守っています」と自信を込めて語った。(松尾慈子)

とれとれ 魚信

各地の内水面漁連から溪流魚解禁の発表が続く。一覧表や地図上の河川から各漁協のHPにリンク。入漁料や河川の現況、入漁券発売所などそれぞれ工夫を凝らして分かりやすくなっている。

◇兵庫◇

【垂水】水温10度前後で本格シーズンにはやや早いアジュール舞子や平磯海づり公園でカレイが姿を見せだした。ウキ釣りで早朝にメバル。垂水一文字はフカセでチヌ。マックス垂水店☎078・753・3838

【西宮沖】海峡サビキ便は数少ないがマダヤが姿を見せだした。ハマチまじり。ガシラを狙い、良型まじり10匹程度。半夜のアジ、メバル便は水温が不安定でムラがある。釣人家☎090・8794・1091

【小柿溪谷放流釣り場】エサ釣りゾーンでは15〜20センチのアマゴを15匹前後が良い人の成績。イクラやブドウ虫で脈釣り。ルアー、フライゾーンでは15〜30センチのニジマスを狙う。HP(<http://www.eonet.ne.jp/~kogaki-fishing/>)

◇和歌山◇

【和歌山】紀ノ川河口のドッグランはフカセでチヌ、キビレ狙い。ルアーやノマセでヒラメも。エサになるコノシロの群れ次第ではまだブリ狙いも。田ノ浦では穴釣りで

ガシラ。マックス和歌山店☎073・473・5858

【中紀栖原】乗合船でアサリのむき身をエサに18〜27センチのカワハギを狙う。波の日が多く釣果にムラはあるが慣れた人なら20匹以上。磯渡しは3月1日から再開する。かるも丸☎0737・62・3527

【中紀比井】波がおさまれば乗合船は変わらず寒サバ狙い。水温は17度前後あり35〜45センチ級が安定して釣れている。ポイントは水深がありさお釣りが有利。岬丸☎0738・64・2975

◇京都◇

【丹後養老大島】乗合船はジギングでサワラ狙い。80〜90センチの大型も。ヤリイカ狙いは数が少なく良い人で4杯。末広丸☎090・1898・2069

◇アマゴ◇

【滋賀県アマゴ解禁】愛知川上流、安曇川上流葛川は2月26日、高時川上流丹生川は3月1日。その他の河川も順次解禁される。滋賀県河川漁連(<http://shigakasen.com/>)

【京都府アマゴ解禁】3月1日解禁は木津川、和知川のみ。3月中旬解禁の河川が多い。京都府内水面漁連(<http://kyoto.naisuimen.jp/>)